

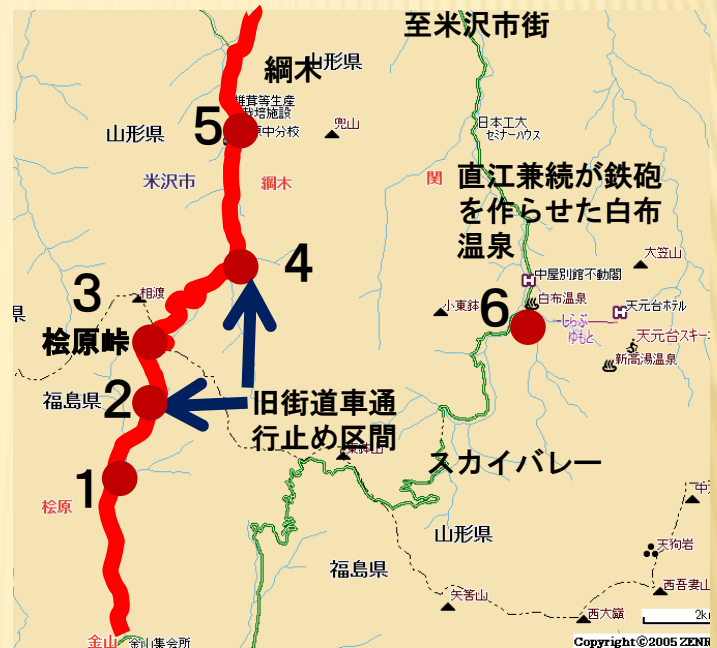
米沢街道5 桧原峠～米沢市綱木

桧原峠～米沢市綱木の史跡

会津側からは「米沢街道」、米沢側からは「会津街道」と行先で呼ばれています。桧原峠南側の林道沿いには「鷹の巣一里塚」があります。東側は半分以上消滅していますが、西側は直径8.5メートル、高さ1.9メートルで残されています。林道と、車の通れない旧街道の分かれには、5月中旬には水芭蕉の大群落となる湿原があります。旧街道は、道幅が約3メートル、峠頂上までは徒歩約15分。標高1094メートルの桧原峠には、40メートル四方の広場があり、その東西に若松を基点に米沢まで両藩が相談して造った一里塚同様に共同で造った境塚があります。東の塚は高さ約3.5メートル西の塚は約4メートルあります。

『会津鑑』によると伊達輝宗は、永禄7年（1564）4月、永禄9（1566）年1月に桧原を攻めましたが、「守り狐」の助けもあり、桧原の穴沢氏が防戦しました。天正13年（1585）には政宗が侵攻し、穴沢氏は敗北しました。直江兼続や伊能忠敬などもこの峠を通りました。

桧原峠から綱木までは徒歩で約1時間30分。沢沿い進むと綱木大滝があり、林道ら出ます。林道から綱木までは、舗装道を徒歩で30分。綱木は、宿場として栄えていましたが、今では10人以下の集落。8月15日には、村関係者が3時間演じる三匹獅子の「綱木獅子舞」が寺跡で演じられます。 文責 石田明夫



1 「鷹ノ巣一里塚」
若松からは9番目（約45^分）の位置にある一里塚。片方だけで残っています。



2 「水芭蕉群落」
林道と米沢街道・桧原峠の分れ道南東にある大群落。5月中旬が見頃



3 「桧原峠の境塚」
約15分で峠頂上。東西に分かれて境塚があります。西側の塚です。2010. 6. 20



4 「会津街道入口」
林道は乗用車通行止めです。米沢市・裏磐梯へは抜けられません。徒歩は可能

